

(資料1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移  
(最近の動向)

令和6年3月12日  
四国森林管理局

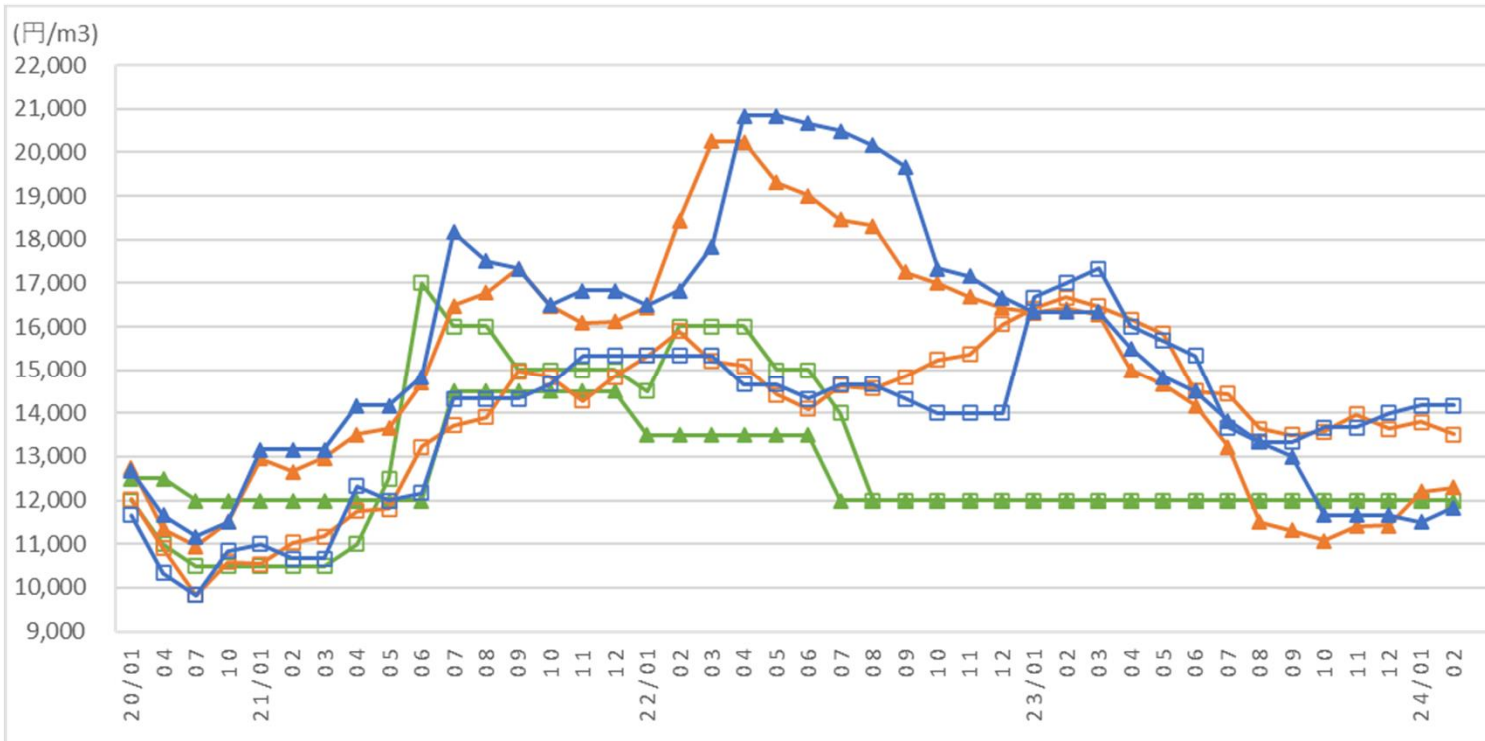
## 目次

|     |                   |    |
|-----|-------------------|----|
| I   | 管内における原木市場・共販所の状況 |    |
| 1   | 丸太価格の推移           | 1  |
| 2   | 丸太取扱量の推移          | 5  |
| II  | 管内における製材等の状況      |    |
| 1   | 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移 | 7  |
| 2   | 製材品の出荷量及び在庫量の推移   | 8  |
| 3   | 製材品価格の推移          | 9  |
| III | 全国の丸太価格の動向        | 10 |
| IV  | 住宅着工戸数            |    |
| 1   | 四国における木造住宅着工戸数の推移 | 12 |
| 2   | 全国の住宅着工戸数の推移      | 13 |

# I 管内における原木市場・共販所の状況

## 1-(1) 丸太価格の推移 (スギ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 令和4年は、愛媛県、高知県では年明けから4月にかけて3m材の引き合いが良くなり価格が高騰、その後は軟調相場に移行したものの高い水準が続いた。また、4m材についても秋口からは引き合いがみられるようになった。
- 令和5年も3月までは高い水準が続いたが、4月以降3m材4m材ともに軟化、直近では4m材に引き合いも見られ底値を脱した感があるが、3m材は低迷が続く。
- 徳島県は、令和4年7月以降は降軟調相場。価格は令和2年の水準まで下落したが、その後は横這いで推移している。
- 令和6年2月のスギ丸太価格は、前年同月比72%から100%で推移。



○ 2月のスギ丸太価格

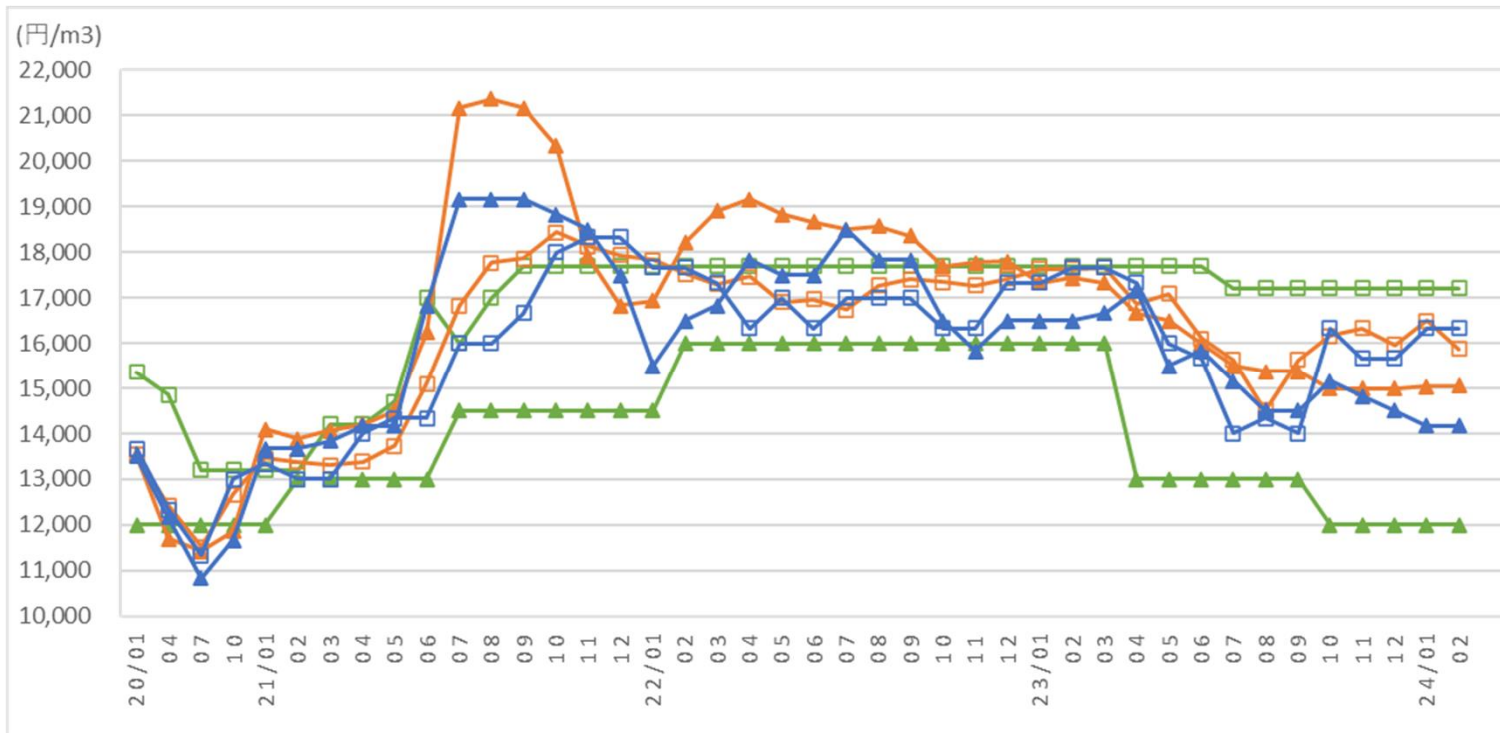
(円/m³)

| 県   | 長級    | 当月     | 前年同月   | 前年同月比 |
|-----|-------|--------|--------|-------|
| 徳島県 | ▲ 3m材 | 12,000 | 12,000 | 100%  |
|     | □ 4m材 | 12,000 | 12,000 | 100%  |
| 愛媛県 | ▲ 3m材 | 12,300 | 16,415 | 75%   |
|     | □ 4m材 | 13,517 | 16,663 | 81%   |
| 高知県 | ▲ 3m材 | 11,833 | 16,333 | 72%   |
|     | □ 4m材 | 14,167 | 17,000 | 83%   |

注：主要な原木市場、共販所の平均価格  
資料：四国森林管理局調べ

## 1-(2)丸太価格の推移 (スギ、径18cm~22cm 長3m材・4m材)

- 中目材については、令和4年は3県とも年間を通して高い水準で相場は安定した。
- 令和5年は、4月頃から引き合いが弱まり軟調相場。直近では底値は脱した感もみられ4m材は概ね安定しているが、3m材は不安定な相場が続く。
- 令和6年2月のスギ丸太価格は、前年同月比75%から97%で推移。



○ 2月のスギ丸太価格

(円/m³)

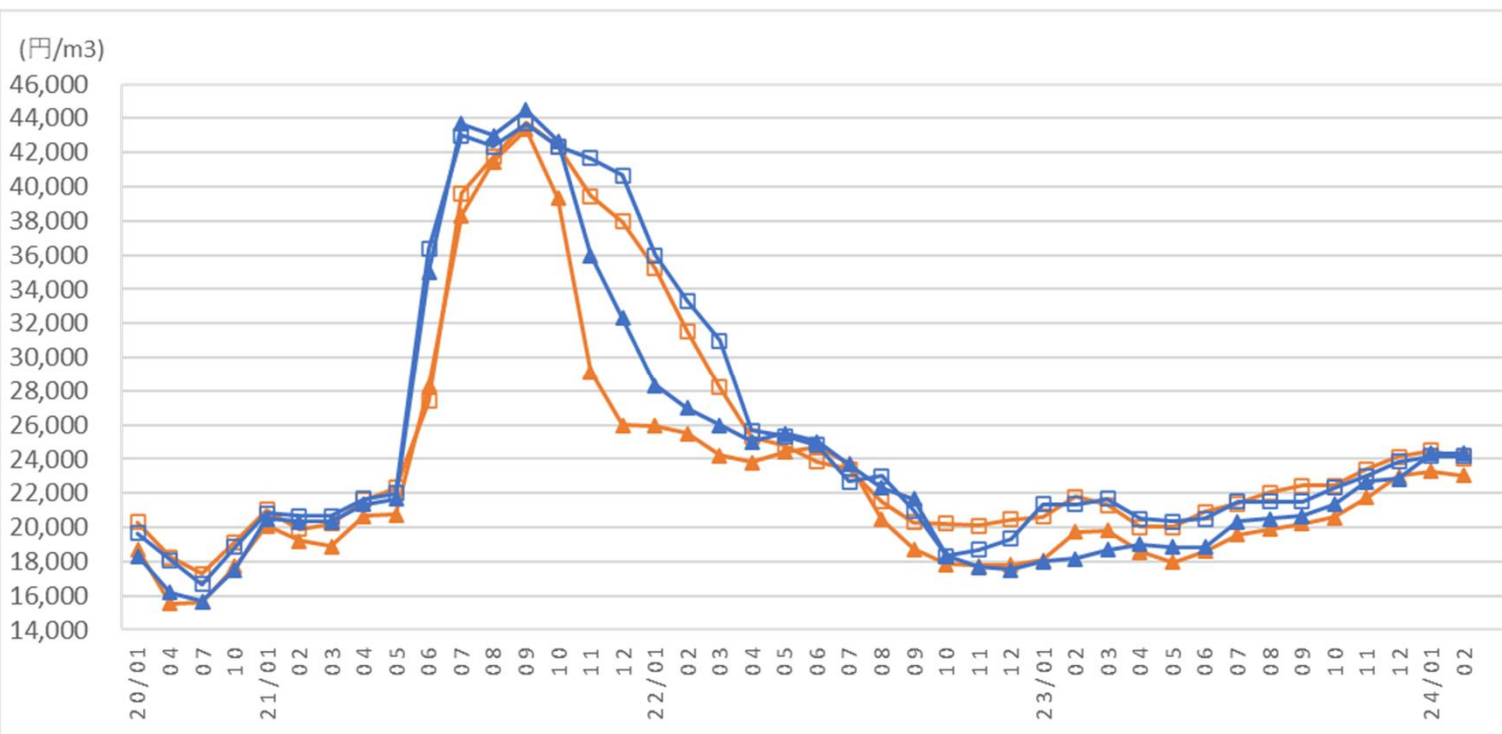
| 県   | 長級    | 当月     | 前年同月   | 前年同月比 |
|-----|-------|--------|--------|-------|
| 徳島県 | ▲ 3m材 | 12,000 | 16,000 | 75%   |
|     | □ 4m材 | 17,200 | 17,700 | 97%   |
| 愛媛県 | ▲ 3m材 | 15,050 | 17,433 | 86%   |
|     | □ 4m材 | 15,867 | 17,637 | 90%   |
| 高知県 | ▲ 3m材 | 14,167 | 16,500 | 86%   |
|     | □ 4m材 | 16,333 | 17,667 | 92%   |

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

## 1-(3)丸太価格の推移 (ヒノキ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 令和4年は、価格の続落が止まらず10月には3m材4m材ともに令和2年同時期の水準まで下落、その後は買方の引き合いがみられるようになり価格も落ち着く。
- 令和5年に入っても価格変動は小さく不安定な相場が続いたが、秋口以降は品薄感からやや上げ基調の相場となった。直近では、引き合いはあるものの頭打ち状態が続く。
- 令和6年2月のヒノキ丸太価格は、前年同月比110%から134%で推移。



○ 2月のヒノキ丸太価格

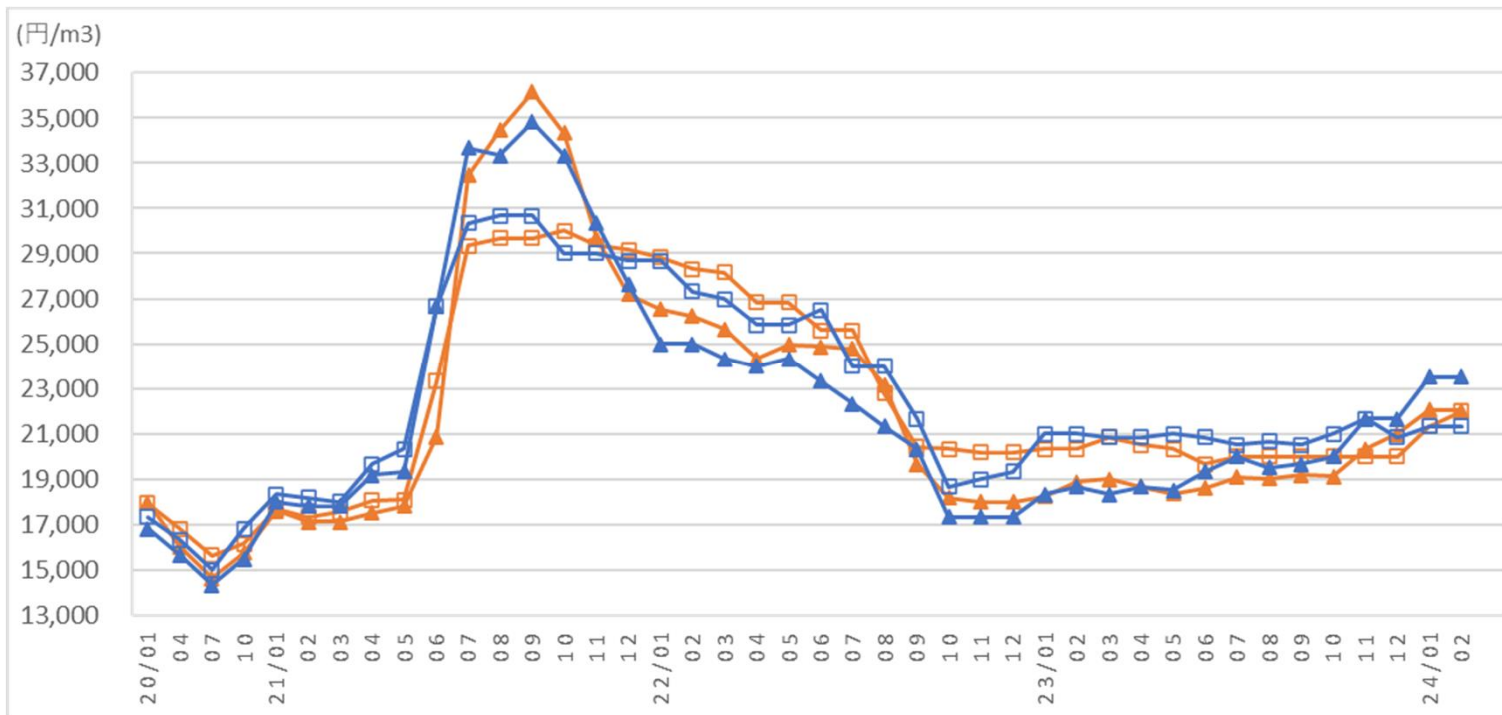
(円/m³)

| 県   | 長級    | 当月     | 前年同月   | 前年同月比 |
|-----|-------|--------|--------|-------|
| 愛媛県 | ▲ 3m材 | 23,052 | 19,722 | 117%  |
|     | □ 4m材 | 24,067 | 21,803 | 110%  |
| 高知県 | ▲ 3m材 | 24,333 | 18,167 | 134%  |
|     | □ 4m材 | 24,167 | 21,333 | 113%  |

注：主要な原木市場、共販所の平均価格  
資料：四国森林管理局調べ

## 1-(4)丸太価格の推移 (ヒノキ、径18cm~22cm 長3 m材・4 m材)

- 中目材についても、令和4年は価格の続落が止まらず7月頃からは一段と下げ幅が拡大、10月に入り下げ止まりがみられ4 m材を中心に価格の落ち着きがみられたが価格は低い水準となった。
- 令和5年1月には、一時、価格の持ち直しがみられたものの反発力は弱く、その後も低い水準のまま概ね横這いが続いたが、10月以降は品薄感からやや上げ基調の相場となった。直近では、引き合いはあるものの頭打ち状態が続く。
- 令和6年2月のヒノキ丸太価格は、前年同月比102%から126%で推移。



○ 2月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

| 県   | 長級     | 当月     | 前年同月   | 前年同月比 |
|-----|--------|--------|--------|-------|
| 愛媛県 | ▲ 3 m材 | 22,013 | 18,867 | 117%  |
|     | □ 4 m材 | 22,000 | 20,333 | 108%  |
| 高知県 | ▲ 3 m材 | 23,500 | 18,667 | 126%  |
|     | □ 4 m材 | 21,333 | 21,000 | 102%  |

注：主要な原木市場、共販所の平均価格  
資料：四国森林管理局調べ

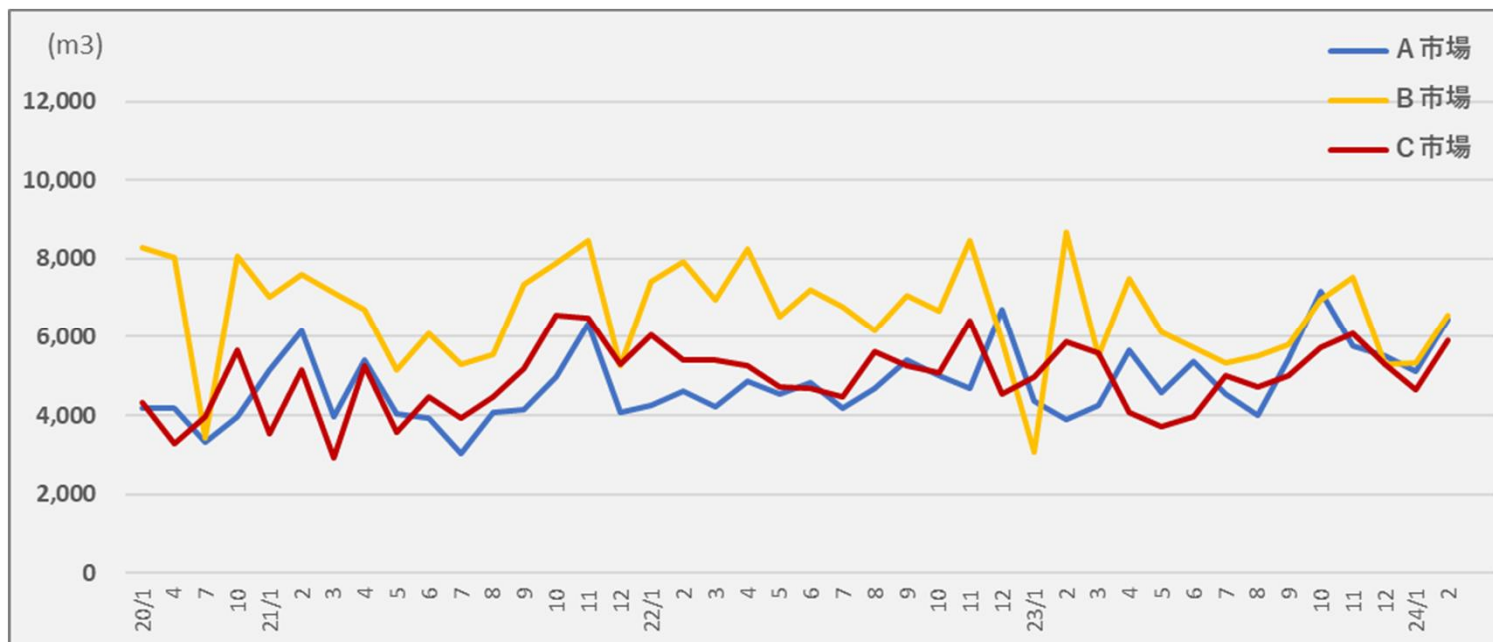
# 管内における原木市場・共販所の状況

## 2-(1) 丸太取扱量の推移（愛媛県）

- 愛媛県内の主な原木市場・共販所における丸太取扱量は、12月から1月にかけて積雪等の影響があり入荷が減少したが、2月は天候にも恵まれ各市場ともに増加した。
- 直近3か月（12～2月）で見ると、前年同時期と比べ104%で僅かに増加。

直近3か月（12～2月）の入荷量

|     | 2023年  | 2022年  | 前年同期比 |
|-----|--------|--------|-------|
| A市場 | 17,064 | 14,940 | 114%  |
| B市場 | 17,187 | 17,683 | 97%   |
| C市場 | 15,853 | 15,372 | 103%  |
| 計   | 50,104 | 47,995 | 104%  |



### （市場関係者のコメント）

・直近の状況では、スギ・ヒノキともに入荷は順調。

・大手製材メーカーでは昨年より受注残を抱えており、丸太の引き合いが強い。

・ヒノキは全体に売れ行き好調で堅調相場を維持。スギは先行き不透明感を増す。

・2月末の市では、スギの引き合いがさらに悪化。

・天候不良等の影響で今後入荷量が減少するのでは。

資料：四国森林管理局調べ

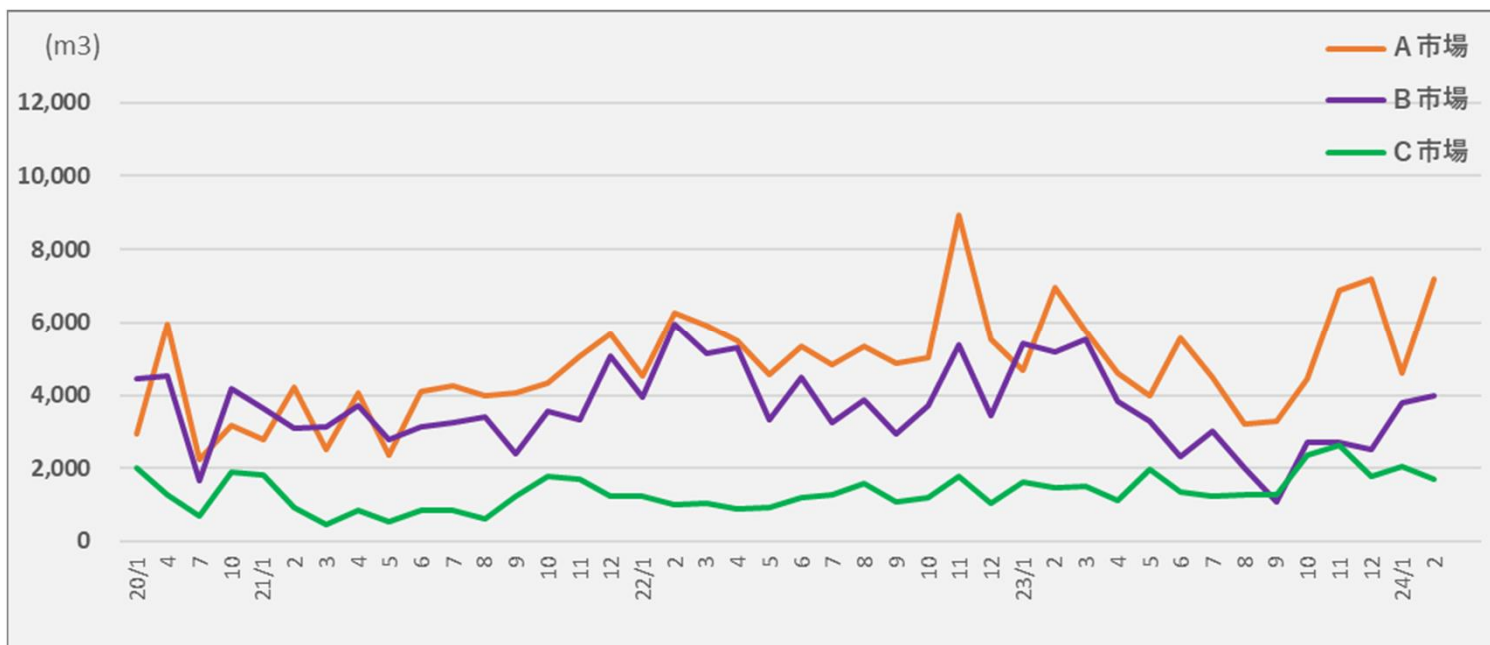


## 2-(2) 丸太取扱量の推移（高知県）

- 高知県内の主な原木市場・共販所における丸太取扱量は、市場によりバラツキがみられるものの、10月以降は天候にも恵まれ増加傾向にある。
- 直近3か月（12～2月）で見ると、前年同時期と比べ99%とほぼ同水準。

直近3か月（12～2月）の入荷量

|     | 2023年  | 2022年  | 前年同期比 |
|-----|--------|--------|-------|
| A市場 | 19,000 | 17,166 | 111%  |
| B市場 | 10,300 | 14,015 | 73%   |
| C市場 | 5,497  | 4,137  | 133%  |
| 計   | 34,797 | 35,318 | 99%   |



### （市場関係者のコメント）

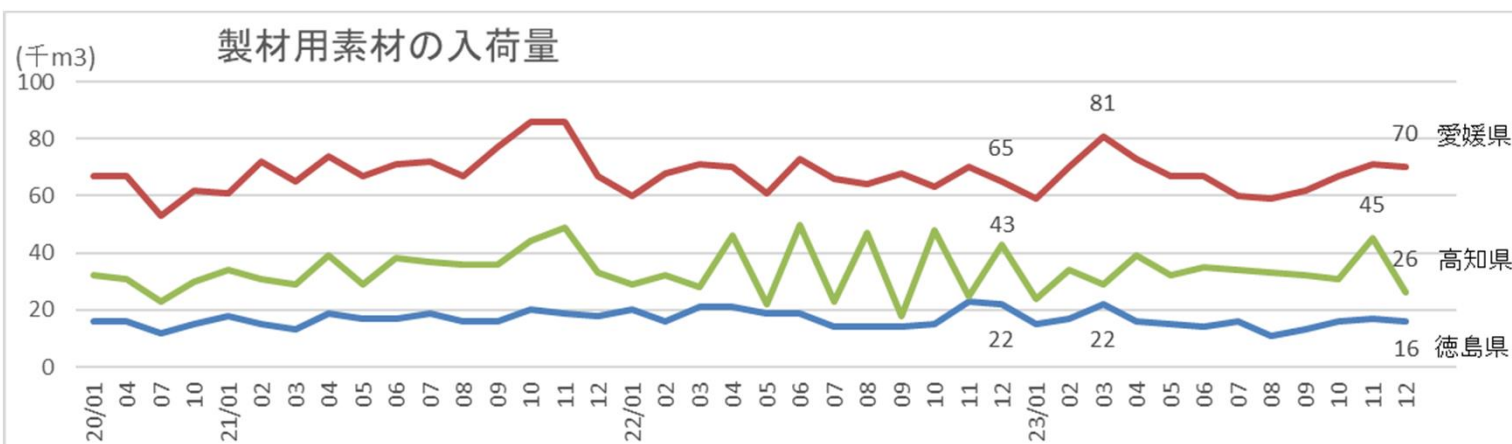
- ・直近の入荷量は、やや減少傾向。
- ・ヒノキは現状品薄感があるが、製品の販売動向によっては値下がりもあるのでは。
- ・材の引き取りは良好。
- ・スギに関しては、依然として買気が弱く、先行き不透明。



## II 管内における製材等の状況

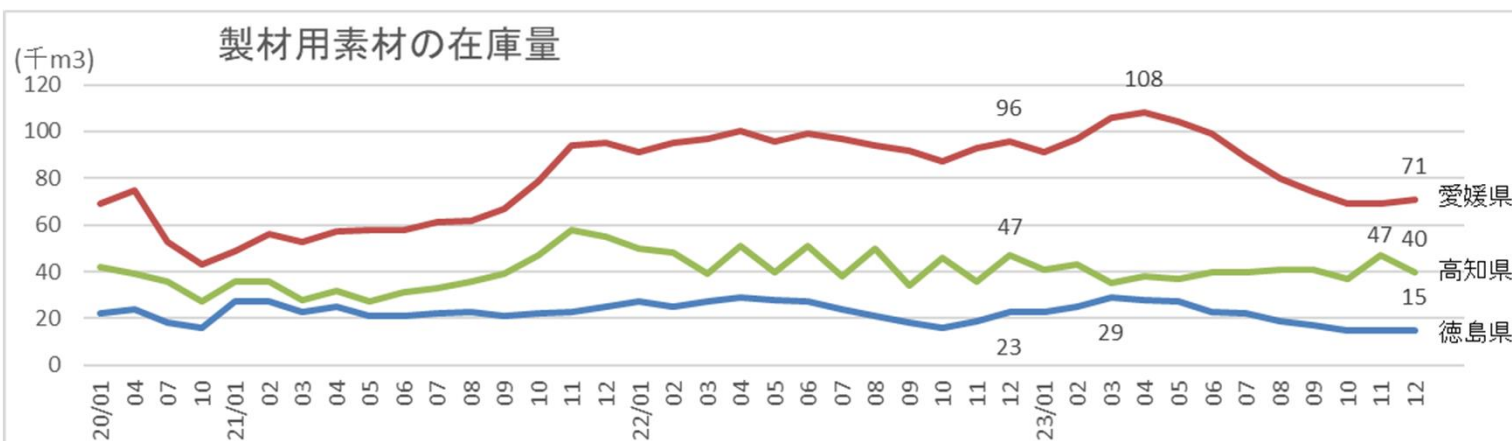
### 1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和2年～令和5年）

- 四国の1～12月の製材用素材の入荷量は、1,388千m<sup>3</sup>（前年比97%）。愛媛県は概ね前年並み。徳島県・高知県は減少。
- 同期間の製材用素材の月平均在庫量は、50千m<sup>3</sup>（前年比93%）。5月から11月にかけて減少が続いたことから、3県ともに減少。令和3年11月以降高い水準にあった愛媛県でも、最近では大幅に減少。



1～12月製材用素材入荷量 (千m<sup>3</sup>)

|     | 2023年 | 2022年 | 前年比  |
|-----|-------|-------|------|
| 徳島  | 188   | 218   | 86%  |
| 愛媛  | 806   | 799   | 101% |
| 高知  | 394   | 411   | 96%  |
| 四国計 | 1,388 | 1,428 | 97%  |

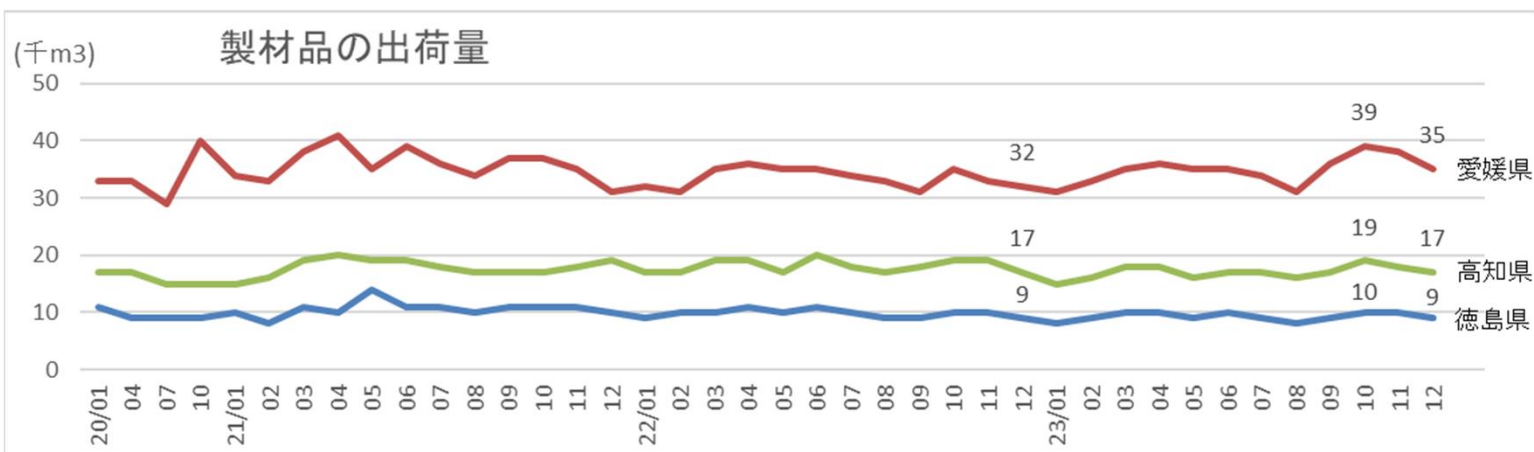


1～12月製材用素材在庫量(月平均) (千m<sup>3</sup>)

|     | 2023年 | 2022年 | 前年比 |
|-----|-------|-------|-----|
| 徳島  | 22    | 24    | 92% |
| 愛媛  | 88    | 95    | 93% |
| 高知  | 40    | 44    | 91% |
| 四国計 | 50    | 54    | 93% |

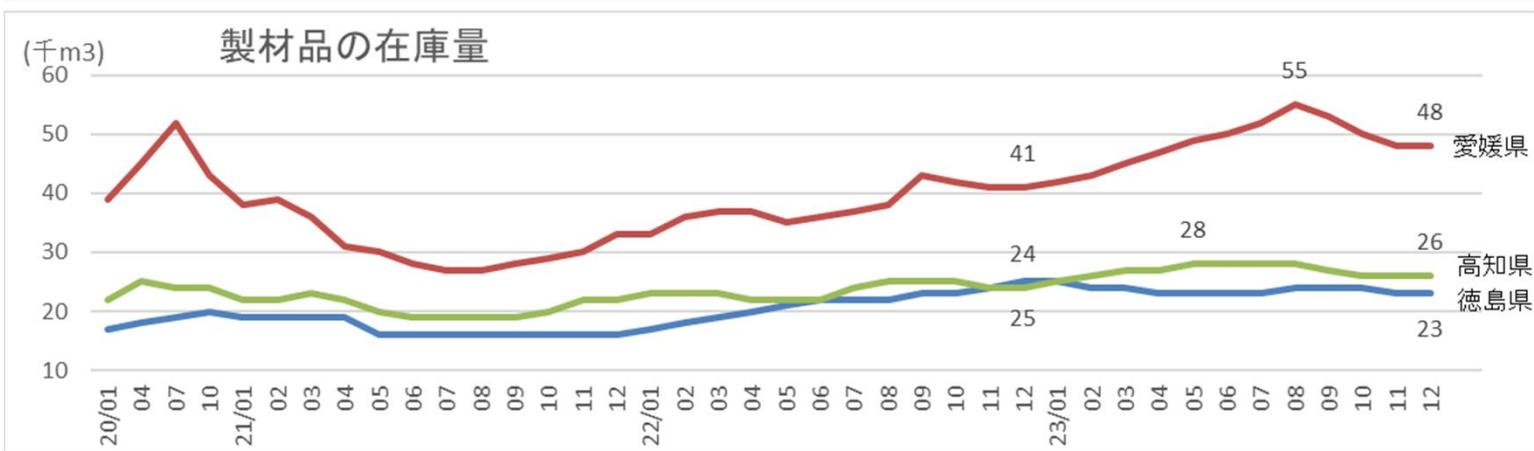
## 2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和2年～令和5年）

- 四国の1～12月の製材品出荷量は、733千m<sup>3</sup>（前年比99%）、秋口には一時増加傾向も見られたが、年末には再び減少。
- 同期間の製材品の月平均在庫量は、33千m<sup>3</sup>（前年比118%）、ウッドショック以後増加傾向が著しかった愛媛県も最近では減少に転じたが、依然として高止まりの状況にある。



1～12月製材品出荷量 (千m<sup>3</sup>)

|     | 2023年 | 2022年 | 前年比  |
|-----|-------|-------|------|
| 徳島  | 111   | 118   | 94%  |
| 愛媛  | 418   | 402   | 104% |
| 高知  | 204   | 217   | 94%  |
| 四国計 | 733   | 737   | 99%  |

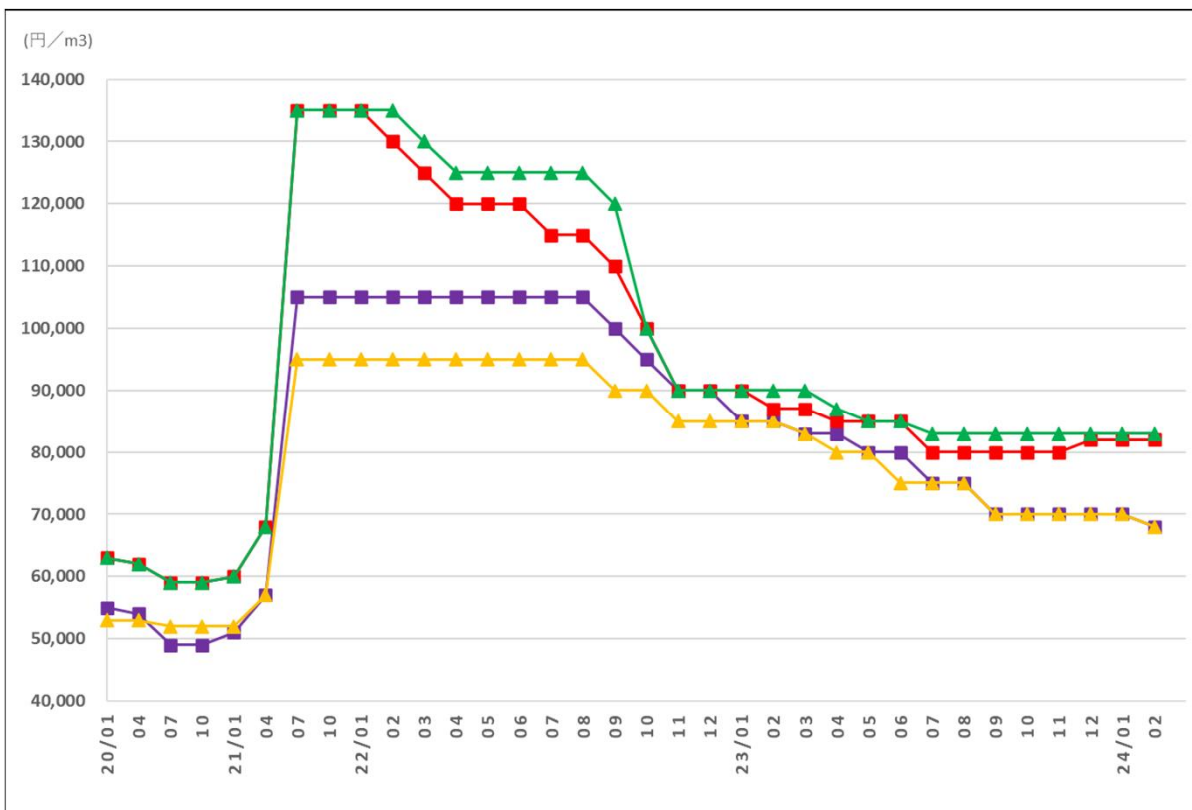


1～12月製材品在庫量(月平均) (千m<sup>3</sup>)

|     | 2023年 | 2022年 | 前年比  |
|-----|-------|-------|------|
| 徳島  | 24    | 21    | 114% |
| 愛媛  | 49    | 38    | 129% |
| 高知  | 27    | 24    | 113% |
| 四国計 | 33    | 28    | 118% |

### 3. 製材品価格の推移

- ウッドショックによる国産材需要の高まりも令和4年に入り、ヒノキ製品は春先から、スギ製品は9月頃から価格が下落しはじめ、10月頃にはスギ製品とヒノキ製品の価格差も殆どなくなった。
- 令和5年に入り買い方の動きはさらに悪化し、価格は総じてジリ安傾向が続いた。
- 直近の状況でも、1～2月の不需要期を迎え全国的に荷動きは低迷、西日本でもプレカット工場の動きが鈍く製品の動きに停滞感があるなど、製品相場は弱気配が見られる。



国産材製品の相場（愛媛県）令和6年2月

(円/m<sup>3</sup>)

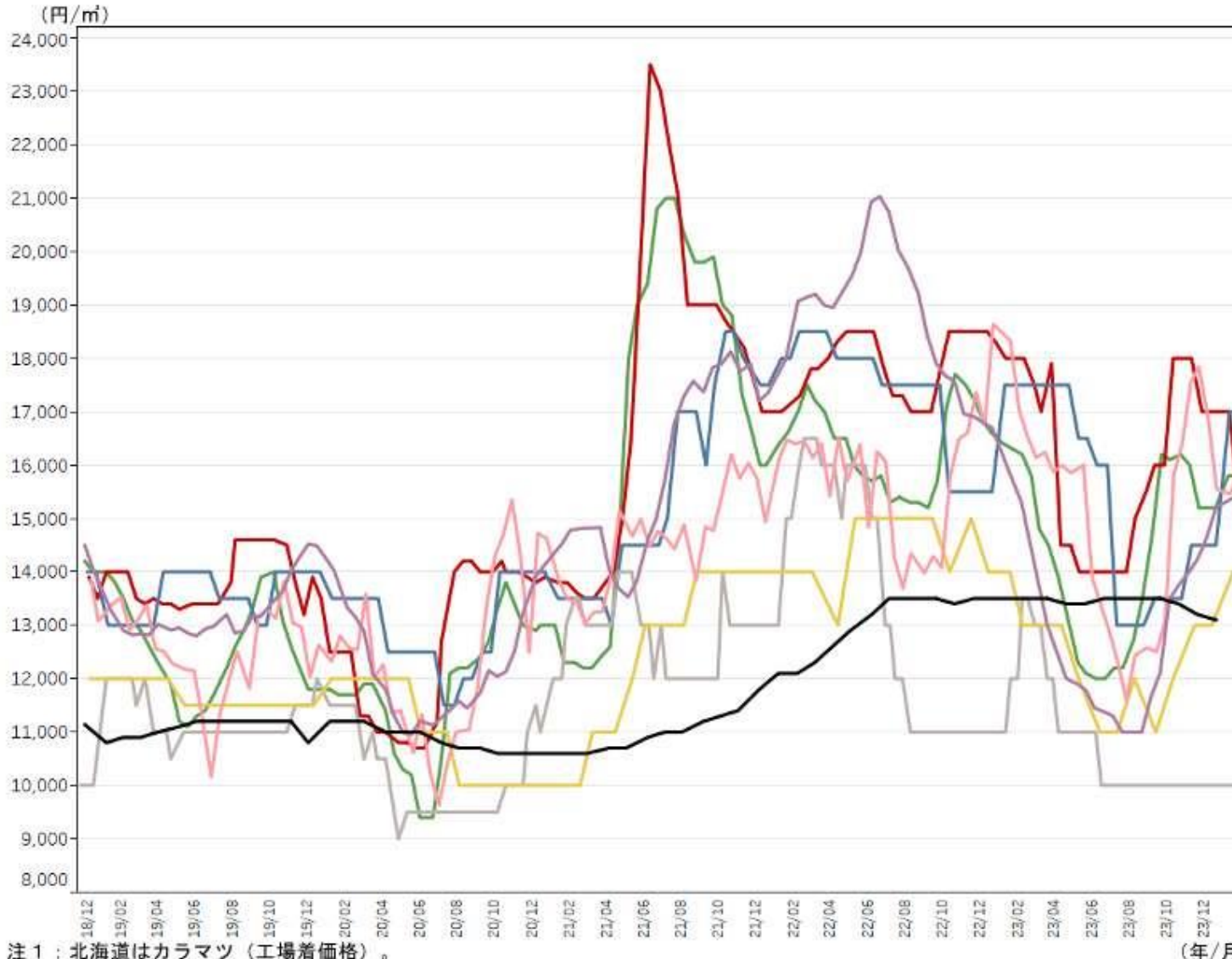
| 品目                      | 当月     | 前年同月   | 前年同月比 |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| ■ スギ柱 3m×105mm角KD特等     | 68,000 | 85,000 | 80%   |
| ▲ スギ間柱 3m×105×30mm角KD特等 | 68,000 | 85,000 | 80%   |
| ■ ヒノキ柱 3m×105mm角KD特等    | 82,000 | 87,000 | 94%   |
| ▲ ヒノキ土台 4m×105mm角KD特等   | 83,000 | 90,000 | 92%   |

資料：日刊木材新聞

# Ⅲ 全国の丸太価格の動向

## ア スギ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円～17,000円/m<sup>3</sup>となっている。



(単位：円/m<sup>3</sup>)

| 都道府県 | 2024年直近* | 前年同期   | 前年同期比 |
|------|----------|--------|-------|
| 北海道  | 13,100   | 13,500 | 97%   |
| 秋田県  | 15,390   | 15,840 | 97%   |
| 栃木県  | 15,790   | 18,330 | 86%   |
| 長野県  | 14,000   | 14,000 | 100%  |
| 岡山県  | 10,000   | 12,000 | 83%   |
| 高知県  | 17,000   | 17,500 | 97%   |
| 熊本県  | 15,000   | 18,000 | 83%   |
| 宮崎県  | 15,800   | 16,300 | 97%   |

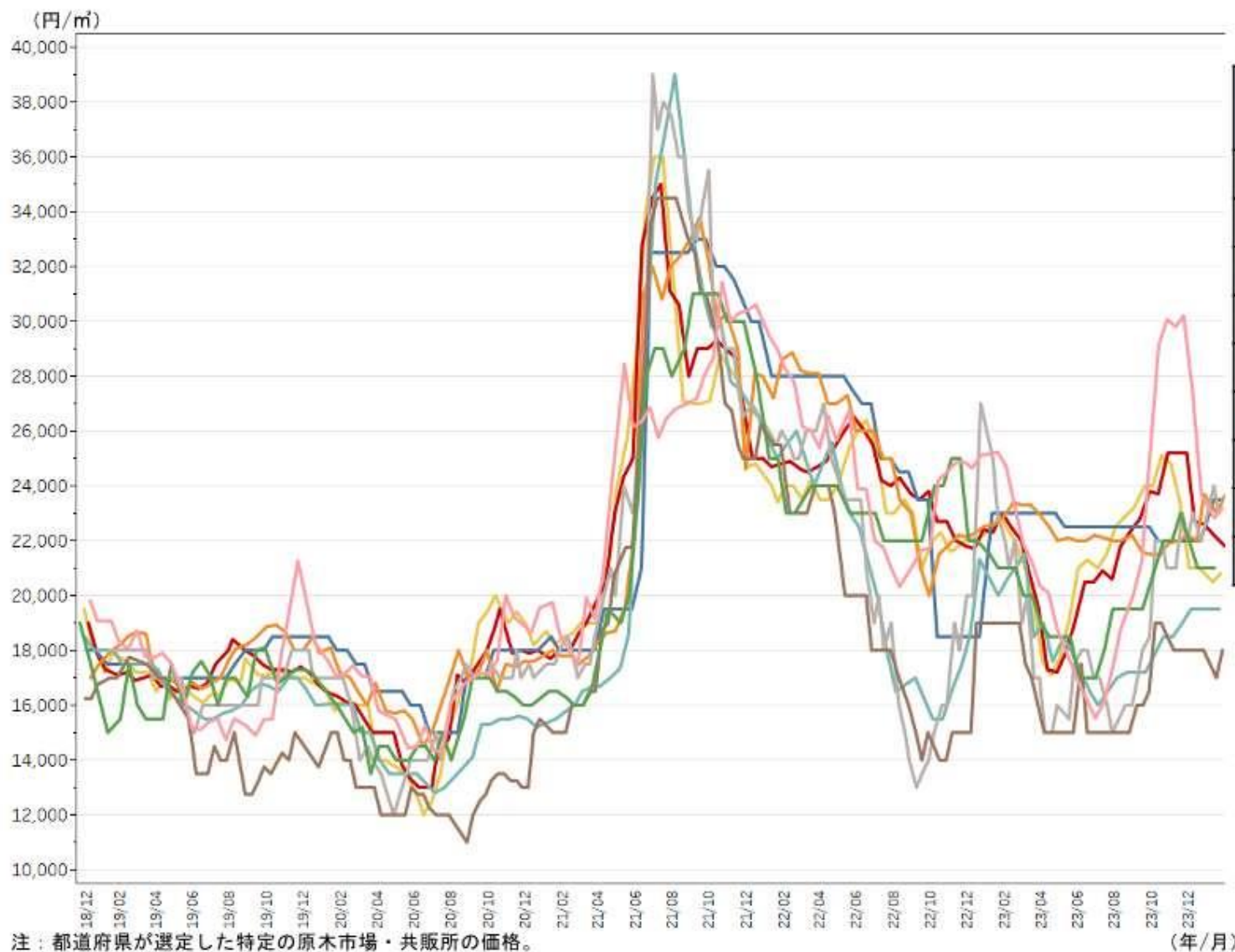
※北海道については12月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については1月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。  
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。



## イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円~23,650円/m<sup>3</sup>となっている。



(単位：円/m<sup>3</sup>)

| 都道府県 | 2024年直近* | 前年同期   | 前年同期比 |
|------|----------|--------|-------|
| 栃木県  | 23,180   | 25,230 | 92%   |
| 静岡県  | 21,000   | 21,500 | 98%   |
| 兵庫県  | 18,000   | 19,000 | 95%   |
| 岡山県  | 23,000   | 23,000 | 100%  |
| 広島県  | 19,500   | 20,000 | 98%   |
| 愛媛県  | 23,650   | 22,900 | 103%  |
| 高知県  | 23,500   | 23,000 | 102%  |
| 熊本県  | 21,800   | 23,000 | 95%   |
| 大分県  | 20,800   | 23,000 | 90%   |

※各県1月の値を使用。

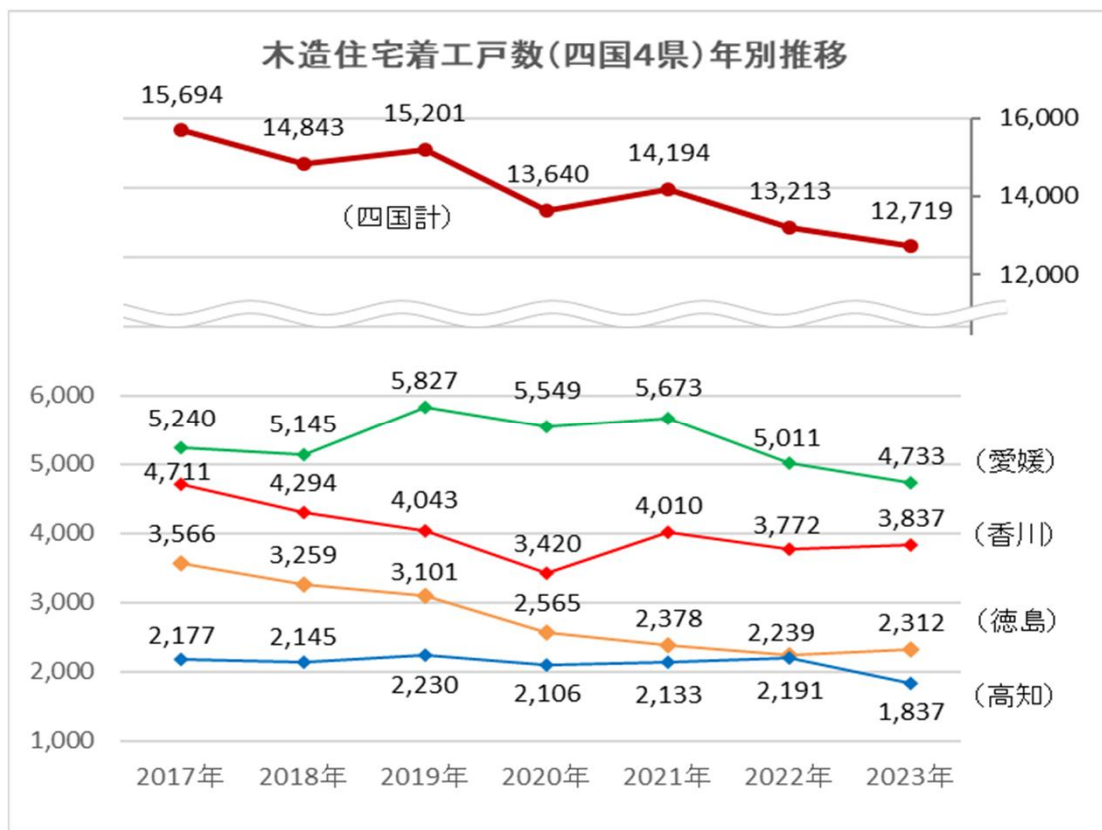
注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

# IV 住宅着工戸数

## 1 四国における木造住宅着工戸数の推移

- 四国における2023年1月～12月の木造住宅着工戸数は、12,719戸（前年比96.3%）となり、昨年に続き過去10年間で最も低い水準となった。
- 県別にみると、徳島県（前年比103.3%）、香川県（前年比101.7%）で増加した一方、愛媛県（前年比94.5%）と高知県（前年比83.8%）では前年を大幅に下回った。



年別推移(1月～12月)

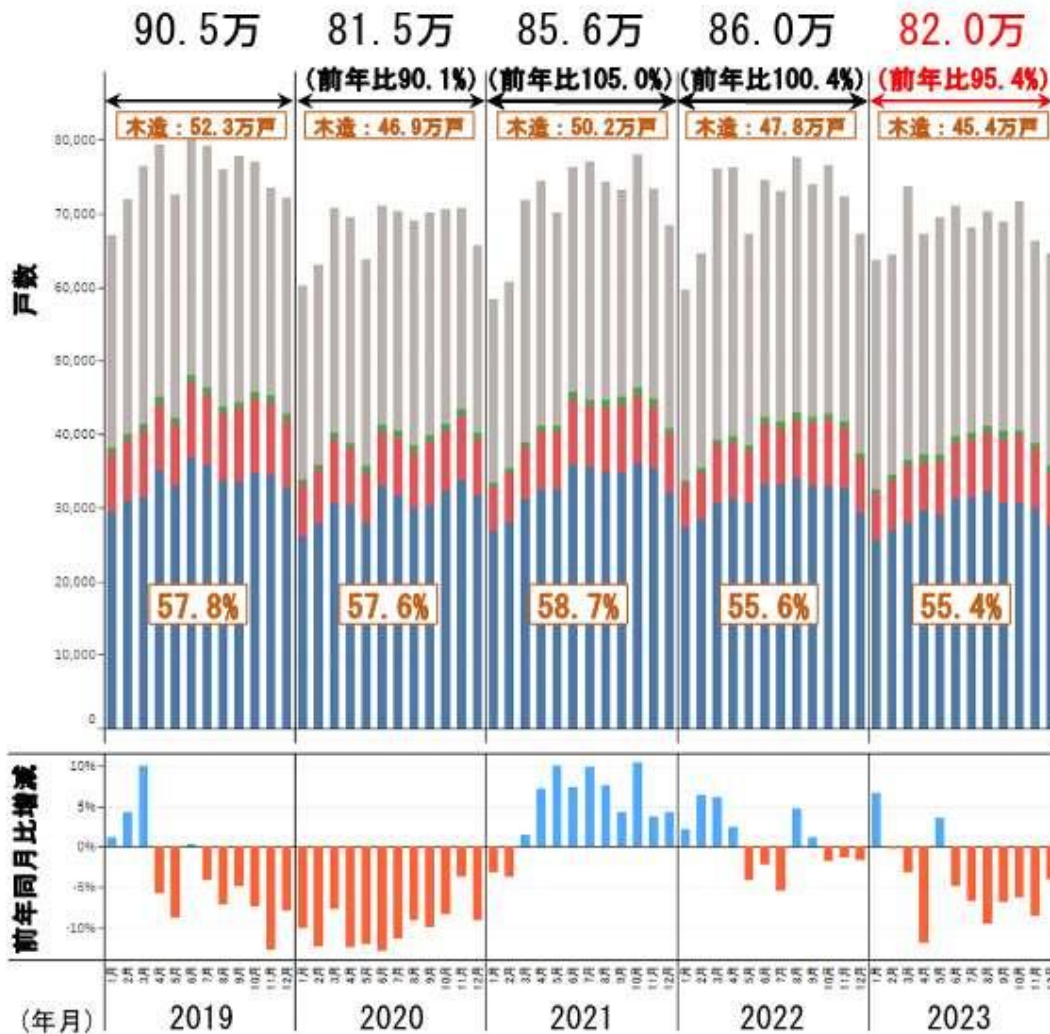
|               | 徳島県           | 香川県           | 愛媛県          | 高知県          | 四国計           | 全国計            |
|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|----------------|
| 2017年         | 3,566         | 4,711         | 5,240        | 2,177        | 15,694        | 545,366        |
| 2018年         | 3,259         | 4,294         | 5,145        | 2,145        | 14,843        | 539,394        |
| 2019年         | 3,101         | 4,043         | 5,827        | 2,230        | 15,201        | 523,319        |
| 2020年         | 2,565         | 3,420         | 5,549        | 2,106        | 13,640        | 469,284        |
| 2021年         | 2,378         | 4,010         | 5,673        | 2,133        | 14,194        | 502,330        |
| 2022年         | 2,239         | 3,772         | 5,011        | 2,191        | 13,213        | 477,883        |
| <b>2023年</b>  | <b>2,312</b>  | <b>3,837</b>  | <b>4,733</b> | <b>1,837</b> | <b>12,719</b> | <b>454,427</b> |
| <b>前年比</b>    | <b>103.3%</b> | <b>101.7%</b> | <b>94.5%</b> | <b>83.8%</b> | <b>96.3%</b>  | <b>95.1%</b>   |
| <b>2021年比</b> | <b>97.2%</b>  | <b>95.7%</b>  | <b>83.4%</b> | <b>86.1%</b> | <b>89.6%</b>  | <b>90.5%</b>   |
| <b>2020年比</b> | <b>90.1%</b>  | <b>112.2%</b> | <b>85.3%</b> | <b>87.2%</b> | <b>93.2%</b>  | <b>96.8%</b>   |



## 2 全国の住宅着工戸数の推移（2019年1月～2023年12月）

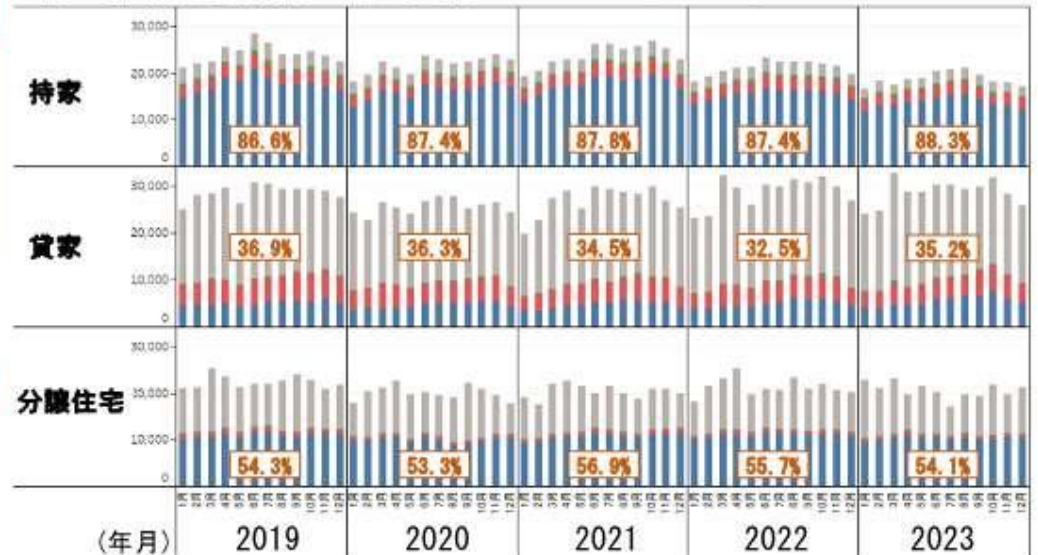
- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）となり、2021年の水準を下回った。
- 2023年1～12月の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年同期比95.4%）、このうち木造住宅は45.4万戸（同95.1%）。

新設住宅着工戸数の推移



| 構造別の着工戸数 | 2023年<br>1～12月 | 前年<br>同期 | 前年<br>同期比 | 前々年<br>同期 | 前々年<br>同期比 |
|----------|----------------|----------|-----------|-----------|------------|
| 合計       | 819,623        | 859,529  | 95.4%     | 856,484   | 95.7%      |
| ■ 非木造    | 365,196        | 381,646  | 95.7%     | 354,154   | 103.1%     |
| ■ 木造     | 454,427        | 477,883  | 95.1%     | 502,330   | 90.5%      |
| ■ 木造プレハブ | 10,329         | 10,144   | 101.8%    | 10,509    | 98.3%      |
| ■ 2×4    | 90,792         | 91,233   | 99.5%     | 96,018    | 94.6%      |
| ■ 在来軸組   | 353,306        | 376,506  | 93.8%     | 395,803   | 89.3%      |
| □ 木造率    | 55.4%          | 55.6%    |           | 58.7%     |            |

(参考) 利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）





# 「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

## 分析結果

### (ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和5年10月～令和6年1月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

### (イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和5年10月～令和6年1月)

【スギ中丸太】 ・ 1月現在、6ヶ月連続の下落。

【ヒノキ中丸太】 ・ 1月現在、5ヶ月以上連続した動きはなし。

### (ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和5年10月～令和6年1月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

### (エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和5年10月～令和6年1月)

【スギ中丸太】 ・ 12月以降は、定常範囲内。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

### (オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和5年10月～令和6年1月)

【徳島県・愛媛県】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【愛媛県・高知県】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領（平成25年7月30日付け25四資第19号）の2の（ア）から（オ）に係る確認

#### 〔判断基準・指標〕

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書(平成24年9月28日(財)日本木材総合情報センター)に示された統計的な判断基準、指標を参考とした
- 使用データ：「国内企業物価指数」(日本銀行統計)  
「木材価格」「製材統計」(農林水産省統計)

## ○ 丸太価格、在庫率の変動

### 1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

|  | 逸脱上限値<br>5.82% |        |        |        | 逸脱下限値<br>-5.96% |     |     |    | 逸脱上限値<br>21.89% |         |         |         | 逸脱下限値<br>-22.21% |         |         |         | 逸脱上限値<br>17.72% |     |     |    | 逸脱下限値<br>-18.54% |  |  |  |
|--|----------------|--------|--------|--------|-----------------|-----|-----|----|-----------------|---------|---------|---------|------------------|---------|---------|---------|-----------------|-----|-----|----|------------------|--|--|--|
|  | 前月比 (%)        |        |        |        | 連続上昇・連続下落 (月)   |     |     |    | 前年同月比 (%)       |         |         |         | 2ヶ年平均価格比 (%)     |         |         |         |                 |     |     |    |                  |  |  |  |
|  | 10月            | 11月    | 12月    | 1月     | 10月             | 11月 | 12月 | 1月 | 10月             | 11月     | 12月     | 1月      | 10月              | 11月     | 12月     | 1月      | 10月             | 11月 | 12月 | 1月 |                  |  |  |  |
| スギ中丸太<br>(径級14~22cm)<br>(長級3.65~4.00m) | -5.17%         | -0.31% | -0.98% | -1.31% | -3              | -4  | -5  | -6 | -20.18%         | -15.40% | -15.11% | -15.11% | -20.10%          | -19.27% | -18.45% | -17.52% |                 |     |     |    |                  |  |  |  |

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

### 2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

|   | 逸脱上限値<br>9.08% |       |       |       | 逸脱下限値<br>-9.27% |     |     |    | 逸脱上限値<br>40.03% |        |        |        | 逸脱下限値<br>-41.55% |        |        |       | 逸脱上限値<br>29.62% |     |     |    | 逸脱下限値<br>-33.64% |  |  |  |
|---|----------------|-------|-------|-------|-----------------|-----|-----|----|-----------------|--------|--------|--------|------------------|--------|--------|-------|-----------------|-----|-----|----|------------------|--|--|--|
|   | 前月比 (%)        |       |       |       | 連続上昇・連続下落 (月)   |     |     |    | 前年同月比 (%)       |        |        |        | 2ヶ年平均価格比 (%)     |        |        |       |                 |     |     |    |                  |  |  |  |
|   | 10月            | 11月   | 12月   | 1月    | 10月             | 11月 | 12月 | 1月 | 10月             | 11月    | 12月    | 1月     | 10月              | 11月    | 12月    | 1月    | 10月             | 11月 | 12月 | 1月 |                  |  |  |  |
| ヒノキ中丸太<br>(径級14~22cm)<br>(長級3.65~4.00m) | -1.87%         | 2.55% | 3.45% | 2.27% | -3              | 1   | 2   | 3  | 6.59%           | 20.09% | 22.38% | 20.66% | -12.58%          | -4.85% | -0.56% | 2.95% |                 |     |     |    |                  |  |  |  |

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

### 3 製材用素材の在庫量

|              | 素材の在庫率 |      |      |    | 逸脱上限値 | 逸脱下限値 |
|--------------|--------|------|------|----|-------|-------|
|              | 10月    | 11月  | 12月  | 1月 |       |       |
| 製材用素材(徳島・愛媛) | 0.97   | 0.97 | 1.00 | -  | 1.88  | 0.81  |
| 製材用素材(愛媛・高知) | 1.03   | 1.12 | 1.08 | -  | 1.58  | 0.89  |

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。